

『きらこ』二十歳にちなんで はたち わたしが二十歳だったころ

看護学生の現場の 二十歳

腹話術師 春風たるま

本名 村上テイ

(屋敷)

新潟生まれだが、雪の嫌いな私は、高校を卒業したら、関東地方へ行こうと思った。

当時大学には、看護学部がなく、唯一、東京大学の衛生看護学科があるのみであり、能力がないため、国立の埼玉、東京、千葉の高等看護学院を受験し、全部合格したが、千葉が気に入り千葉の国立習志野病院附属高等看護学院に入学させていた。左せ看護職を選んだかという点、半学生の間が直前まで、在学医局で他界した看護婦(師)・助産婦(師)・保健婦(師)

であった姉が、医師の指示にて、最後まで、母と二人で看病、介護し、看取り、自分も将来人の役に立つ、在宅看護につながる仕事をしたいたいと思い、看護の道を選んだ。

雪のないのは、すばらしかった。冬でも天気の良い日は、洗濯物が一日で乾く。日本海の佐渡が島の対岸に育った私にとって、荒波と風、どんより曇ったグレーの雪空！雪フミ、雪力きなどなく、冬も晴天多く、天国のようであった。

しかし、18年間の雪の生活のおかげで根性、忍耐力等々充分育った。雪が得意、あきらめず、前向きな努力して、右左に助け合う精神が養われた事は、自然の恵みで感謝している。

さて国立習志野病院附属高等看護学院(習志)について話したい。現在は習志はなく、済生会習志野病院の正面入口の駐車場の右端に病院のご好意で、看護の同窓会で記念碑が建てられている。国立習志野病院は、当時済

生会習志野病院の前の改築される前の病院で、明治33年創立された木造の平屋建てであり、外来、病棟の奥は、結核病棟が数棟あり、廊下も広く、板で補強されていたため歩くと「キュッキュツ」と、うぐいす張りであった。昭和38年頃は、結核の患者さんが多く入院されていた。

看学には、秩父宮殿下が昔、療養で使われた、シンチュウのベッドがあり、



の会場に行つたのも懐かしく思い出の一コマである。

キワメツケは、昭和39年夏、東京オリンピックが始まる数か月前の、1964年、私が看学2年生の20歳の時、何と数十年なかった、K旅館に宿泊していた海外からの帰国者のAさんが、エルトルコレラで国立習志野病院に入院して来られ、指導は看護婦(師)とともに実習生の私の受持ち患者となったのである。

エルトルコレラは激しい米のトギ汁のような下痢、嘔吐で、点滴他水分補給がまにあわず、脱水症状で他界された。連日のように県、F保健所、NHKの報道陣等の来院、厚生省(現在の厚生労働省)からWHOまで報告されたと思う。私は、採便したシャーレの便を検査室に運んだり、医師の指示による看護を看護婦(師)と共に رفتりし、生きた心地がしなかった。

寮の一室に一週間隔離され、毎日直接採便された。コレラ菌は熱と酸に弱

タバコは体に
よくないよ。



いたため、給食室から梅干しを大きな入れ物に入れていただき、山程いたいた。こちらも必死であった。白衣その他の消毒は嚴重に行った。予防接種を行う人が、昔あった順天堂大学の道路の先まで、病院から長蛇の列、空は、ヘリコプターが薬剤散布、大久保駅は、閉鎖、保健所からは、男女2人組で、住民宅の訪問をして検便をしたと何う。住民の方は、窓も閉めるようお願い、クーラーのない時代、大変暑かったと思う。

辛い皆の必死の努力で感染は防がれ、WJHから海外メディアでも報道していただろうが、二カ月後の中卓イリ

ンピックは、無事に終わった。

日本にいて、エルツールコレラの患者の方の直接看護が出来た事は、今になれば、貴重な体験であった。

卒業後、保健婦(師)学院に進学し、国家試験に合格し、県の保健所6か所勤務し38年勤務等の後、スポーツセンター相談室、訪問看護師、ヘルパー、介護職、相談員等々経験し、保健師、49年目に突入。

腹話術師は48歳から故春風イチロー師匠の弟子になって24年目となり、仕事の間に、「腹話術健康教育とリラクゼーション」でボランティアをさせていただいているのも、20歳の頃の経験の上に一歩一歩積み重ねた結果と思われる。

家族や職場の人、まわりの友人達のおかげと思いい感謝しつつ、「笑勉強・笑青春」で、残された日々を大切に生かしていただきたい。4人の子とちと2人の孫に勇気もらいなから...感謝!!

私の青春時代

戸上 和鳳
(新栄)

新年あけまして、また「KIRACO」の20周年を迎えられたこととあわせて心よりお喜びを申し上げるとともに、おめでとうございます。

年末年始のあわたたしい時も過ぎ、また平常の生活に戻りました。

私たちの子ども時代は、正月は、玄関前に門松を飾り、国旗を掲げ家族で新年を祝ったものです。そして児童・生徒は、登校して講堂に集合して、「年の初め」を歌っていたことを思い出します。親たちは、今の時代以上に忙しかったに違いありません。

我が家の正月は、子どもたちの家族がみんな集まり、おみそか・元旦をみんなで過ごし近くの神社に参拝するのが楽しみの一つとなっています。

さて、今年から18歳から選挙権が与えられるようになったことや、スマホ時代に育った若い人が、大活躍している人がいるのにびっくりしています。私たちの青春時代を改めて振り返ってみることにしました。

あのころ(10代の後半)は、NHKの「青春の主張」や、「全国高校野球」



絵・戸上和鳳

わたしが二十歳だったころ

のテレビ放送に夢中になり、くぎづけで視聴していたことを記憶しています。活動するというより与えられたことに感動するばかりだったようです。

一方、音楽では、ビートルズ、ポール・アンカ(ダイアナ)の曲を楽しんだ時期があったことも思い出します。また現在の天皇陛下のご成婚のパレードがテレビ中継され、みんなが熱狂的にお祝いムードになったことが強く印象に残っています。当時美智子様のことを「みっちゃん」とお呼びし、みっちゃんブームを巻き起こしたのも有名です。

熊本から京都へ

私の青春時代は、高校卒業して初めて故郷(熊本)を離れて学生生活(京都)を送っていた時代です。親から、職業婦人になるのだと教育され、私も希望に燃えて遠い京都での学園生活がはじまったのです。

思い出すことはすべてが初体験ばかりでした。

- ・夜中までおしゃべりしては、口論になったりしたこと。(政治・文学・恋愛)
- ・アルコール飲酒を覚え、量もわからず飲んでしまい寝てしまったこと。
- ・アルバイト(レストラン)で皿を割ってしまったこと。
- ・文学サークル活動(学生間)で文芸雑誌を発行したこと。
- ・実らない恋もあったこと。

この、実らなかったことは、当時男女複数の友人関係で行動し、仲良く楽しんでいたのが、ある時から二人だけの交際が始まったのです。しかし1年半ぐらいでついに別れることになったのです。

というのは、仲間の別の女性と付き合っていたのです。

浮気に気づいたのがずっと後で、すぐショックで腹が立ったのですが、涙が出るわけでもなくいつまでも引きずった記憶はなかったことを覚えていきます。

他には、寮生活だったので外出時間

には門限が決まっていたのに、ある日門限を破ってしまいました。守れなかったら、罰則があったはずなのに、なぜかばれずに罰を受けないまま過ぎたこともありました。今では、反省心が強かったのか得した気持ちにはなかつたことをすっかり覚えています。

こんなことをしている場合ではなく、いよいよ卒業後の就職のことを考え始め、次のような仕事をやろうと心に誓いました。

- ・アナウンサーに憧れ放送局勤務
 - ・関西に残り普通の会社員
 - ・親も薦めていたことだし自分としてもやってみなかつた教員。
- この3つに絞り採用試験を受けることにしました。

結果的には、故郷（熊本）で教員生活がスタートしました。その初任の年（1964年）にちょうど東京オリンピックが開催されたので、記念すべき年となりました。当時、女子バレーボー

ルが優勝し「東洋の魔女」といわれたことが、鮮明に記憶に残っています。あれから半世紀余りが過ぎ去りました。私も教員生活は、千葉に来てからも続け結婚後も共働きをしながら子育てしてきました。千葉に住むようになり、早いもので50年近くになります。

昨年の暮れに、近くでジャズコンサートが開催され、青春時代に戻って楽しんできました。ビートルズ『抱きしめたい』、プレスリー『好きにならずにいられない』などの演奏を聴き懐かしくいい気分浸ることができ、元気をいただきました。演奏者は、私たちの年代の方々ばかりで感動的でした。

やはり青春とは、若い時代の特権ととらえるのではなく、第二の輝く時代にして充実した人生を送りたいものです。最近の芸能界では、AKB48、関ジャニ∞やバラエティ番組の多い事、よくわからないことばかりですが、若い人が良く頑張っています。大みそ

かの『紅白歌合戦』で松田聖子の『赤いスイートピー』は、懐かしく新鮮に感じられたのは不思議な気がしました。今年は、名作の「坊っちゃん」が放送されるので楽しみにしているとこ

ろです。現在はパソコンばかりではなく、タブレット、アイパッド、スマホなど、IT時代で若い人は、日常的に手放せない生活の道具になってきています。私も苦手なパソコンを新しく購入し、教わりながらポチポチ触つていくところです。

楽しく元気に生きるためには若い人の力と周りの人たちの力を借りて、支えられながら、これからの人生を元気で送りたいと考えています。

最後になりましたが、「ぎょうさん」のおかげで若いころを思い出す機会をくださりありがとうございます。これからも益々の発展をお祈りしています。

英国での日々

モナリザ

もう四十年前も前の話ですが、短期大
学1年生の頃、学校の掲示板に「短期

語学留学生募集」が貼り出され、私の目は釘付けでした。行き先は英国、憧れの国です。なんとか実現させたい私は、どう両親に切り出そうか考えていました。「成人式の振袖の代わりに留学させてほしい」と頼むとありがたいことに即快諾!!二カ月程度でしたが十九歳の時に家族を、日本を離れてホームステイ出来た事は、私の輝かしい青春の一ページとなっています。

黒いベルベットのワンピースを着て、羽田空港からアンカレッジ経由ロンドン行きでした。わくわくしながらタラップを登り、初めての飛行機に乗り込みました。機内食を食べ、時計を見ると日本時間の夜の十時。なのに窓から煌々と太陽が見えて、丸い地球を飛んでいるんだなあと思惑しました。

私が滞在したのは、ロンドンから南へ170キロほ

どのプールという海辺の町です。小高い坂の上に建つ家は、レンガ造りで素敵でした。三階建ての一階に奥様のご両親、二階と三階にご主人夫婦とごも三人（デイリア、ナイジェル、カリナ）がいました。庭に手入れが行き届き、水仙が沢山咲いていました。私には家族同様に接してくれ、子供達ともよく遊びました。三歳のカリナがペラペラ英語を話すのがちょっとシャクに触り、そんな気持ちを抱く自分を不甲斐なく感じたり、こっけいに思えたりしたものです。

そんなある日、私は同行した学校の友人と町に遊びに行き、夜遅くなつてしまいました。英語に自信もなかつたので電話もしなかつたのです。帰つた私を待っていたのは怖い顔のご主人と奥様でした。どこに行つていたのか、夕食も用意したのにどういふことか、どれだけ心配したか：私たちにはあなたを守る責任があるのだと叱られました。他人からあんなに叱られたのは初



めてでした。でも何だかとても嬉しく
て、泣きながら謝りました。若気の至
りとはいえ、申し訳ないことをしまし
た。ホストファミリーに当たりはずれ
があるなら、私は確実に大当たりの出
会いです。

さらに語学研修も半ば、これからど
んどん上級会話に入る頃です。私は体
調を崩しました。熱が出て体中に湿疹
が出て、フラフラです。「ジャーマン
ミールズ（風疹）」でした。その単語
がわからず、私はドイツ人ではないの
に何だろうと思いました。そしたら奥
様が「あなたはジャバニーズミールズ
ね！」と明るく笑ってください安心し
ました。それから一週間寝込み、三度
の食事もすべてお世話になり、情けな
い日々でした。そんな私を短大の先生
が毎日お見舞いに来てくださり、あり
がたく思いました。他の学生にも感染
しないか心配でしたが、私の後に二人
がなりました。苦い思い出です。

体調も回復し、学校に戻ると授業は

確実に進んでいて、ついて行けません
でした。悲しかったけれど、回りのサ
ポートが素晴らしく、私は何とか修了
証書を手にすることが出来ました。も
ちろん成績はボロボロですが……
今、振り返ってみるとこの経験は私
の心の支えとなり、強くしてくれまし

安保闘争・混声合唱

高橋榮輔

昨年の9月19日未明、国会周辺に詰
めかけた国民各層からなるデモ隊注視
のなかで安全保障関連法案が成立した。

この光景を見て55年前になるが、昭
和35（1960）年に成立した現行の
日米安保条約に対する反対運動が思い

た。決して裕福な家ではなかったのに、
快く送り出してくれた亡き両親に感謝
の気持ちでいっぱいです。
これを書きながら、もう一度行きた
くなっている自分に気が付きました。
行けるかな？行きたいな！！

起こされる。わたしは福井市内の高校
に通い受験勉強をしていた時期だ。

当時の総理大臣は安倍首相の祖父に
あたる岸信介氏であった。旧安保条約
は吉田茂首相が昭和26（1951）年
に日本の独立と同時に締結したものだ。

片務的内容の旧条約と比べると新条
約は形式的ではあるが双務的体裁が整
えられており、集団的自衛権でもって
日米双方が日本および極東の平和と安
定に協力することが規定されていた。

しかしながら安保条約そのものに反
対する人たちが国会議事堂を取り囲ん
でデモを繰り広げ、その様子が新聞、

テレビ等で連日報道されていた。6月
15日（水）、全学道のデモ隊が衆議院
南通用門から国会に突入したときに警
官隊と衝突して東京大学4年生の樺美
智子さんが亡くなってしまい、国内が
騒然となったことを鮮明に覚えてい
る。このときは自衛隊の導人も検討さ
れたそうだ。

この記事が載った。この日は授業が午
前中で終わることから先生たちもデモ
に参加するとの情報が校内に流れた。
一部の生徒たちが「自分たちもデモに
参加したい」と申し出たが、「デモは
先生たちに任せてくれ」と言って断ら
れてしまった。余談だが、今年から選
挙権が18歳に引き上げられる。このよ
うな申し出が生徒からあつたら先生た
ちはどのように対処するのだろうか。
条約案は5月20日に衆議院を既に通



過しており、参議院の賛成を得ること
なく憲法の規定によつて30日後の6月
19日に自然成立した。

翌年春、神戸大学経営学部は無事合
格した。長兄が同大学に在学していた
のでわたしも受験した次第である。

この大学は戦前から大学であった旧
制神戸経済大学を中核として昭和24年
に県内の旧制姫路高等学校・神戸工業
専門学校・兵庫師範学校・兵庫青年師
範学校を併合し、6学部（現在は11学
部）からなる新制「神戸大学」が創設
され、わたしは13回生であった。今は
灘区六甲台にほとんどの学部が集中し
ているが、わたしが入学したころは校
舎が各地に分散しており、阪神間の自
宅から通学できる学生は旧兵庫師範の
校舎、姫路市近郊やわたしのように地
方から出てきた学生は旧制姫路高等学
校の校舎に振り分けられて教養課程の
講義を受けた。

大学には前年の安保闘争の余韻が
残っており、一度だけだが姫路城前大

通りで行われたデモに参加した。息子を大学に入れた親たちは「どのクラブに入ってもかまわぬが、全学連と山岳部にだけは入らないでくれ」と頼んだという話が残っている。

教養課程時代の一年半は混声合唱団に入って楽しく過ごした。1年生だけで32人、男女比は半々、男声は各学部から集まってきたが女声は全員が教育学部の人たちだった。わたしたちの学年が姫路分校を出た2年後に教養課程の校舎が六甲台に完成した関係で、姫路分校の校舎は神戸大学から離れて、現在は兵庫県立大学のキャンパスの一つとなっている。

5年ほど前から混声合唱団の仲間が集まり毎年各地を旅行している。昨年は卒業後50年にあたったので、青春時代を過ごした姫路市を訪れた。改修になった姫路城に登り、もちろん旧姫路分校を訪ねた。大正15年に建てられた本館と講堂が文化庁から登録有形文化財に指定され、保存されていた。合唱

練習でいつも使っていた講堂に許可を得て入り、観客はいなかったが壇上で数曲歌った。(写真Ⅱ前ページ)

校門前の掲示板を見たら、NHKの朝

青春時代

気がついたら
おばあちゃん

古希を迎えた私が20歳の頃は、東京オリンピック開催に向けて、生活様式が大きく変化した時代で、日本が敗戦をのり越えて、先進国として認められた時期でした。アメリカを目標にして高度成長に突入していった頃でした。

私も専業主婦だった母のすすめもあって、結婚しても続けられる仕事の資格を得るために進学しました。全国

ドラマ『あさが来た』で、主人公のあさが日本で初めての女子大学を設立してその開学記念式典の模様をこの講堂を使って録画したとの貼り紙があった。から集まった友人との学びは楽しく、テストの前には、地方出身の友だちのアルバイトで勉強と称して徹夜でおしゃべりしたりしていました。

テレビでアメリカのホームドラマが放映されるようになり、私は「陽気なネルソン」という番組が大好きでした。イケメンロックシンガーの家族のドラマでした。若者たちが明るくて、自由で、お洒落でした。

当時、大学祭ではダンスパーティーが開かれる事が流行していました。私たちもアメリカの若者のファッションをまねて、パニエをつけて思いきりふくらませたスカートで、ジルバやマンボを踊りカレッジライフ感を味わい楽しんでいました。家と学校の往復で自由になる小遣いも少なかった頃の思い出です。